

## (2)一人ひとりに行き届く 細やかな支援体制の構築

### 特別な支援や配慮を必要とする子どもを支える教育の充実

特別な支援や配慮を必要とする子どもを支えるために、次のような体制を整えています。

#### ○通級指導教室

市内の4つの小学校と2つの中学校に通級指導教室を設置し、特別な支援を必要とする子どもへの個に応じた指導や、学級担任等の教員および保護者への支援を行っています。

#### ○専門家による巡回相談

巡回相談員が学校を訪問し、より良い支援のあり方について協議する体制を整えています。

#### ○ことばの教室

ことばがつながりにくい、正しい発音ができない、ことばの発達に遅れがある、落ち着きがない、友達とうまく関われない、といった就学前の子どもに対して、個々の特性に応じた指導や、担任や保護者との相談を行っています。

### インクルーシブ教育の推進



一人ひとりの発達の段階に応じて子どもに寄り添えるよう、**インクルーシブサポーター**を一部の小中学校に配置しています。  
“地域で学ぶ”支援体制を強化することで、障害のある子どもとない子どもが共に学ぶ、インクルーシブ教育システムの早期構築を目指します。

※インクルーシブ教育：可能な限り一人ひとりの能力や困りごとが考慮された、全ての子どものための教育です。インクルーシブとは、「包括的な」「包みこむ」という意味です。

### 学校のユニバーサルデザイン化



ユニバーサルデザイン（※）の考え方を取り入れた学習環境や学校生活環境の整備、特別な支援や配慮を必要とする子どもを含む全ての子どもにとって理解しやすい共通した指導体制を整えることによって、**誰もが安心して過ごせる学校づくり**を進めています。

※ユニバーサルデザイン：障がいの有無や年齢、性別、人種などに関わらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインする考え方。

## 適応指導教室「やまびこ」



不登校や集団にうまく適応できない状態にある子どもを対象に、保護者・学校・関係機関と連携を密に取りながら、**一人ひとりの状態に応じた教育的活動**を展開する中で、学校復帰の活力を高める関わりを進めています。

## 就学指導・就学相談



**就学前から学齢期まで切れ目のない支援**を継続していくため、関係機関が連携する支援体制を整備し、一人ひとりの教育的ニーズに応じて適切な学びの場が選択できるよう、教育相談、就学相談、学校見学等を通じて、本人・保護者への情報提供や相談に対応しています。

## スクールソーシャルワーカーの活用



不登校等の子どもとその家庭への働きかけや、関係機関との連携について、**教育と福祉の分野において専門的な知識**を持つスクールソーシャルワーカー（SSW）を活用し、対応しています。

## 翻訳・通訳による支援



日本語指導が必要な子どもと保護者に対して、懇談会や家庭訪問等での通訳や、重要な書類の翻訳により支援することで、**学校生活を安心して送ることができるようにサポート**を行っています。